

1.1.2 第1回予備調査結果

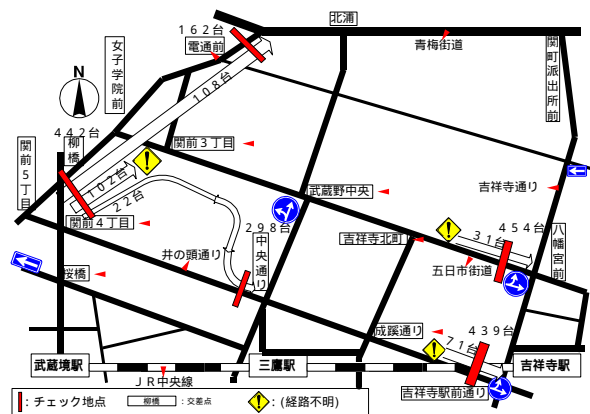


図 1-B 柳橋の通過車両



図 1-C 関前4丁目の通過車両

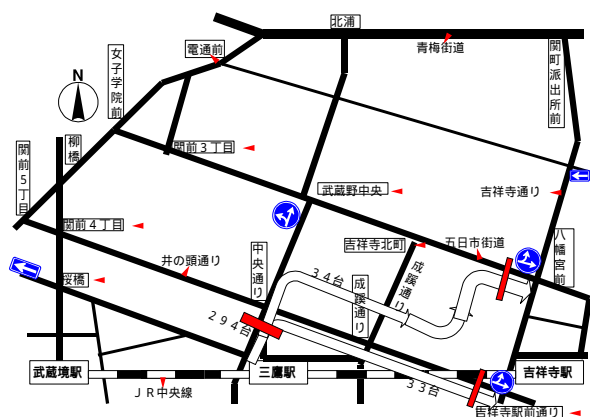


図 1-D 中央通り南側の通過車両

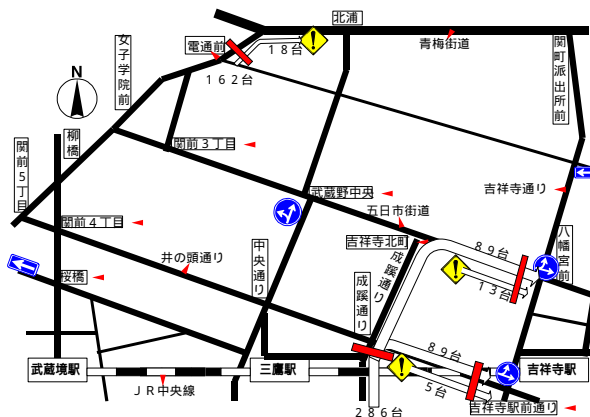


図 1-E 成蹊通り南側の通過車両

図 1-B～図 1-E の結果から井の頭通りと五日市街道の間でドライバーの経路選択されている可能性が高い。

1.1.3 第2回予備調査要項

- 目的：本調査の調査範囲・調査詳細を見直す。
- 調査日時：平成 8 年 7 月 24 日（水）AM8:00～AM8:40
- 使用機材：テープレコーダー（またはビデオカメラ）、テープ、電池、デジタル時計
- 調査方法：ビデオ撮影，カセットテープ録音により通過車両のナンバー（4 桁）を 40 分間記録．調査開始時と車群が途切れた時に現在時刻を記録．ナンバーを見逃した時には「パス！」と記録し断面交通量を補完する．

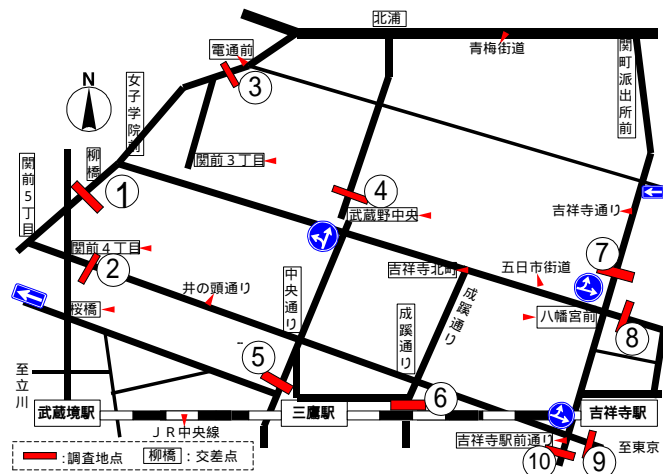


図 1-F 第 2 回 予備調査エリア

- 調査員：26 名

以下のように配置した．括弧内はエリアから流出部か流入部かを示す．

調査交差点	調査車線	調査員
柳橋交差点北東側	北東行き(流出)右車線	麦倉
	北東行き(流出)左車線	高松
	南西行き(流入)右車線	石渡
	南西行き(流入)左車線	片岡
関前 4 丁目付近交差点東側	東行き(流入)	白川
	西行き(流出)	大口
電通研前交差点南西側	北東行き(流出)	笹倉
	南西行き(流入)	林
武蔵野中央交差点北側	北行き(流出)	金山
	南行き(流入)	菅田
中央通り交差点南側 (武蔵野警察前南側)	北行き(流入)	花房
	南行き(流出)	山口
成蹊通り交差点南側 (JR 中央線付近)	北行き(流入)	清宮
	南行き(流出)	家城
八幡宮前交差点北側	北行き(流出)	富士田
	南行き(流入)	藤井
八幡宮前交差点東側	東行き(流出)	赤羽
	西行き(流入)	山本
吉祥寺駅前交差点東側	東行き(流出)	飯島
	西行き(流入)	白石
吉祥寺駅前交差点南側	北行き(流入)	佐藤
	南行き(流出)	小酒井
中央通り交差点西側	東行き(流入)	吉井
成蹊通り交差点西側	東行き(流入)	西川
武蔵野中央交差点西側	東行き(流入)	堀口
吉祥寺北町交差点西側	東行き(流入)	味澤

1.1.4 予備調査における問題点

- **調査員に関する問題**

- 調査中に食べ物を食べる者がいた。
- どの方向の交通を調査すればいいか迷った者がいた。
- 二輪車のナンバーを読んだ者がいた。
- 立ち位置、見る方向など分からない者がいた。
- 立って長時間作業するのは辛い（信頼性に影響？）。

- **調査方法に関する問題**

- 録音方法（ナンバー・時刻など）が一様でない。
- テープ録音のみでは記録の確認ができない。
- 複雑な挙動の車両がいた。（バスやタクシー？）

本調査では，これらのことを含め次のように改善が必要とされた。

- **改善課題**

- 調査マニュアルの充実
 - ・ ナンバーの読み方の統一する。
 - ・ 調査中の飲食の制限する。
- 調査方法の変更
 - ・ 記録を二重化（カセットテープ・野帳）する。
 - ・ バス、タクシーの判別を加える。
 - ・ 現在時刻の記録方法を変更する。
- 調査監督の配置
 - ・ ほぼ1交差点に1名で配置する。
 - ・ 事前説明，調査員の時計合わせを行う。
- 調査本部の設置
 - ・ 各調査地点との連絡は携帯電話（PHS）を用いる。
- その他
 - ・ 調査員は交代で作業し，休憩を設ける。
 - ・ 代替機材を用意する。
 - ・ 調査員には作業用に椅子を用意する。

1.2 本調査

1.2.1 調査地点図

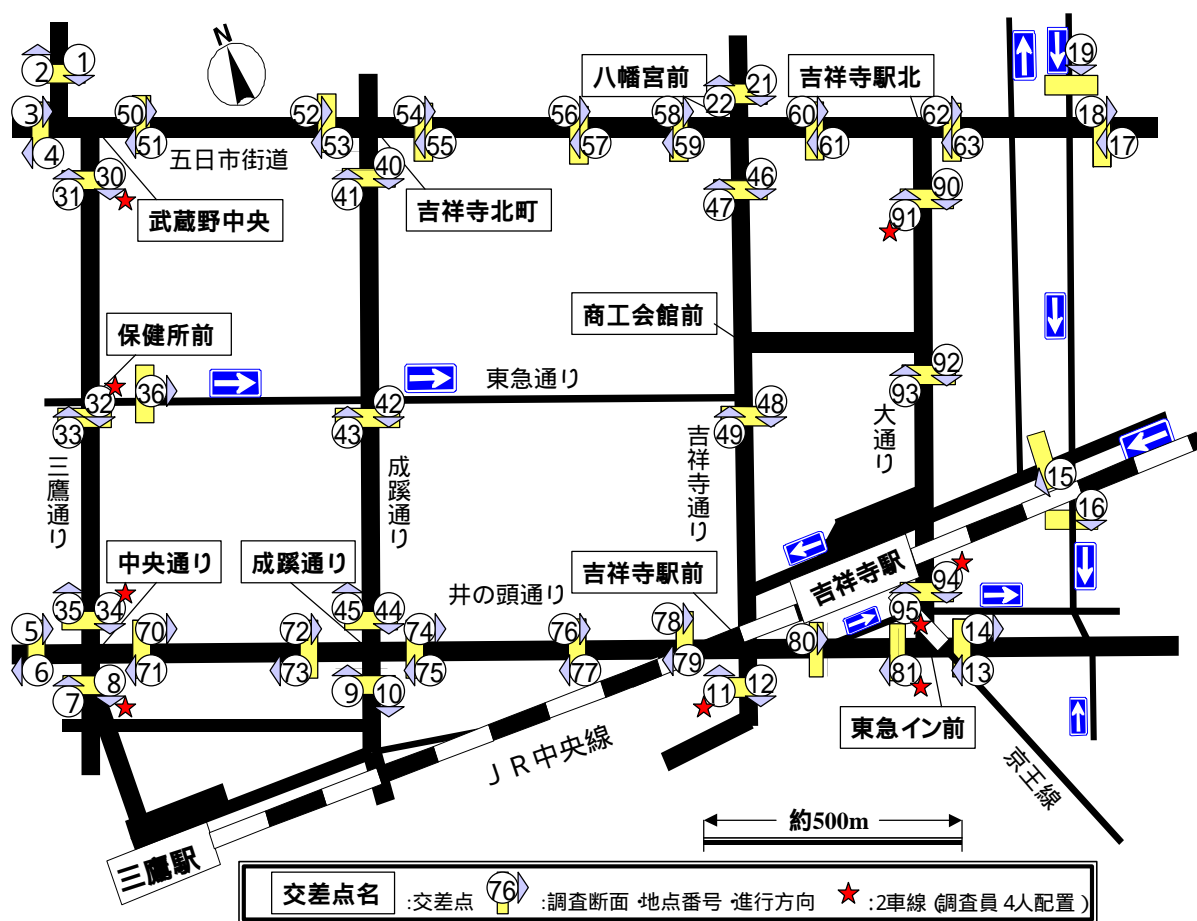


図 1-G 調査地点図

図 1-G に本調査における調査地点図を示す。図 1-G では丸数字が調査地点番号を，三角形が進行方向を，四角形が調査断面を，星印が片側 2 車線の調査地点をそれぞれ示す。

1.2.2 調査マニュアル

三鷹・吉祥寺調査実施要項（ナンバー調査員用）

1、集合場所・時間

- ・ JR 三鷹駅北口駅前交番横（図 1 参照）
- ・ JR 吉祥寺駅北口近鉄デパート入口前（図 2 参照）

・ 平成 8 年 1 0 月 3 0 日（水） 午前 5 時 4 5 分（時間厳守）

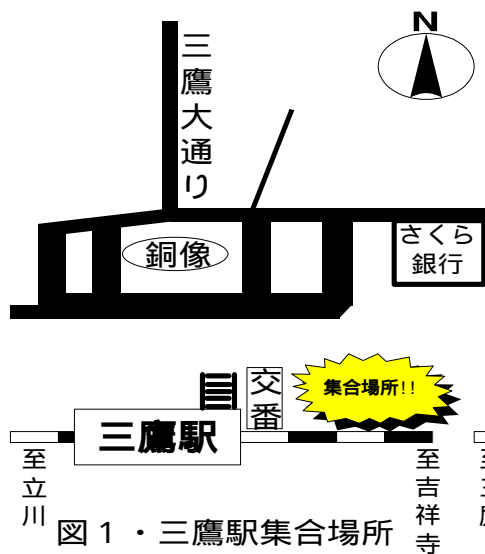


図 1 ・ 三鷹駅集合場所



図 2 ・ 吉祥寺駅集合場所

2、調査日時・場所

・ 平成 8 年 1 0 月 3 0 日（水） AM 7 : 0 0 ~ 1 0 : 0 0

（雨天順延の場合 平成 8 年 1 0 月 3 1 日（木） 時間帯は同じ）

・ 三鷹・吉祥寺エリア

（井の頭通り、五日市街道、中央通り、成蹊通り、吉祥寺通り及びその付近）

3、雨天の場合について

調査前日の午後 4 時に電話連絡をする。翌日の同時刻に順延。

連絡がないときは雨天であっても必ず同時刻に集合。

4、持ち物

- ・必ず時計を持参（デジタル時計：秒単位までわかるもの）。
- ・筆記具（ボールペン）
- ・飲み物は各自持参。食べ物、たばこは不可。

5、対象車両

4 輪車以上とする。（二輪車は対象外）自衛隊車両、外交官車両等特殊な車両も対象とする。牽引車は牽引車のみ（先頭の車両）を対象とする。

6、調査方法

二人一組でテープ録音者と野帳記入者とに分かれ、テープ録音者が時間とプレートナンバーの（大きい）数字 4 桁、車両の判別を読み、その音声をカセットレコーダーに録音する。

同時にもう一人の野帳記入者はテープ録音者の音声を聞いて用意された野帳に時刻、プレートナンバー（大きい数字四桁）、車両の判別を記入していく。

7、調査時の注意事項

7.1 カセットレコーダーに録音する人（テープ録音者）

- ・4 輪車以上を読み上げる。（二輪車は読まず、特殊車両は読む。）
- ・車両の判別は次のように読み上げる。

バスの時 ：「はい！ 2 2 5 1（ニーニーゴーイチ） バス 」

 { バスの判断は、行き先表示がある路線バスにします }

タクシーの時：「はい！ ・ 1 2 5（テンイチニーゴ） タクシー」

 { タクシーの判断は、車両の上に表示器があるものにします }

それ以外の時：「はい！ 9 9 5 5（キューキューゴーゴー）ペケ」

特殊車両の時：左から 4 つの数字を読む。以下のように下線部のみ読む。

例：[3 2 - 5 8 7 2 2 6] 「はい！ 3258（サンニーゴーハチ）ペケ」

 [外 - 6 6 7 9] 「はい！ 6679（ロクロクハチキュー） ペケ」

- ・車両のナンバーを読めなかったときは「だめ」という。

例：「はい！ だめ！」

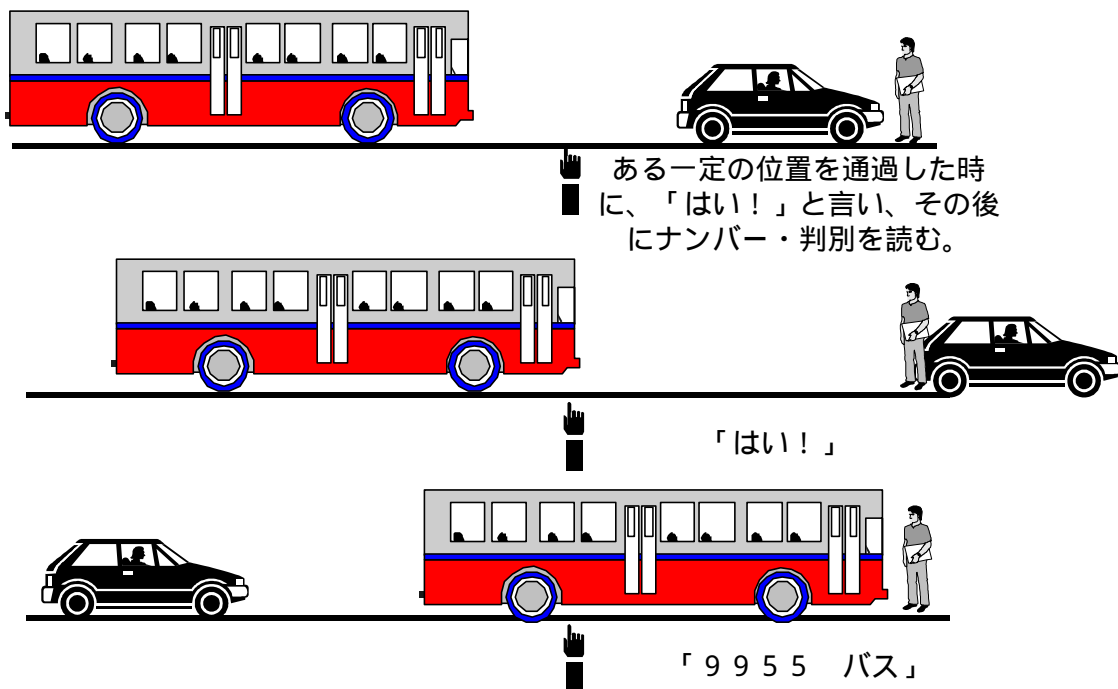
- ・時刻は0秒ジャストで録音するのがベストだが、車群が続く場合は、車群がとぎれた時点(信号待ち、渋滞で車が止まっている時など)に、10秒単位で録音する。

例：

まもなく7時1分30秒になります。
3、2、1、はい！

- ・信号待ちや渋滞して止まっているときの車を先読みせず、自分の立っている位置を通過したら読む。
- ・テープ交換は約45分後(前もって監督が指示)に信号が赤、または車の流れがない時に時間を読んでから行う。ただし交換中も野帳記入者のために車がきたらナンバーを読みとる。テープを換えたら新たに時刻を録音する。
- ・2回目のテープ交換時にレコーダーの電池も交換する。
- ・テープは全て、A面のみ使用。
- ・2回目のテープ交換(電池交換)の時に、同じペア内で録音者と記入者を交代する。

- ・「はい！」の言い方



注：「はい！」は、車が連続して来て（以下、車群が続いて）忙しい場合、省略化。

7.2 野帳に記入する人（野帳記入者）

- 時刻の記入はあらかじめ持参したデジタル時計を見ながら、時刻が変わったら1分おきに野帳に記入していく。時刻記入が間に合わない場合は1台分の欄を使って線で区切るか、時刻記入欄に印を付けておく。車群が切れたら後で数字を入れる。時刻が変わらない場合は、時刻欄を空欄のままでよい。

記入例：

時	分	ナンバー	判別

時	分	ナンバー	判別

- 判別欄にはバスの時は「B」、タクシーの時は「T」と書く。

記入例：時刻 7 時 1 0 分 「はい！ 2 2 5 1 バス」の時

時		分		ナンバー				判別
0	7	1	0	2	2	5	1	B

記入例：時刻 8 時 8 分 「はい！ ・ 1 2 5 タクシー」の時

時		分		ナンバー				判別
0	8	0	8	・	1	2	5	T

- ・バス・タクシー以外の車両はテープ録音者が「ペケ」というので判別欄にチェックする。

記入例：時刻 8 時 5 9 分 「はい！ 9 9 5 5 ペケ！」の時

時		分		ナンバー				判別
0	8	5	9	9	9	5	5	✓

- ・テープ録音者が「はい！だめ！」と言ったときは判別欄に「D」と書く。

記入例：時刻 9 時 3 0 分 「はい！だめ！」の時

時		分		ナンバー				判別
0	9	3	0					D

- ・ナンバーが分からなかった時、またはテープ録音者がナンバーを読んだが記入が間に合わなかった時は、その台数分野帳を空白にして、すぐに次の車のナンバーから聞いて書き込むようにする。

記入例：時刻 9 時 4 5 分 「1 2 ・ ・ （わからない・聞き取れない）」の時

時		分		ナンバー				判別
0	9	4	5	1	2			

7.3 その他

- ・調査時に食べ物を食べない。（飲み物は可。ただし、調査に差し支えないように。）
- ・この調査は3時間連続調査なのでトイレはあらかじめ済ませておくこと。
- ・腕章は調査が終わるまで必ずつけておくこと。
- ・一定の通過位置で読む。信号待ちや渋滞しているときの車を先読みしないで

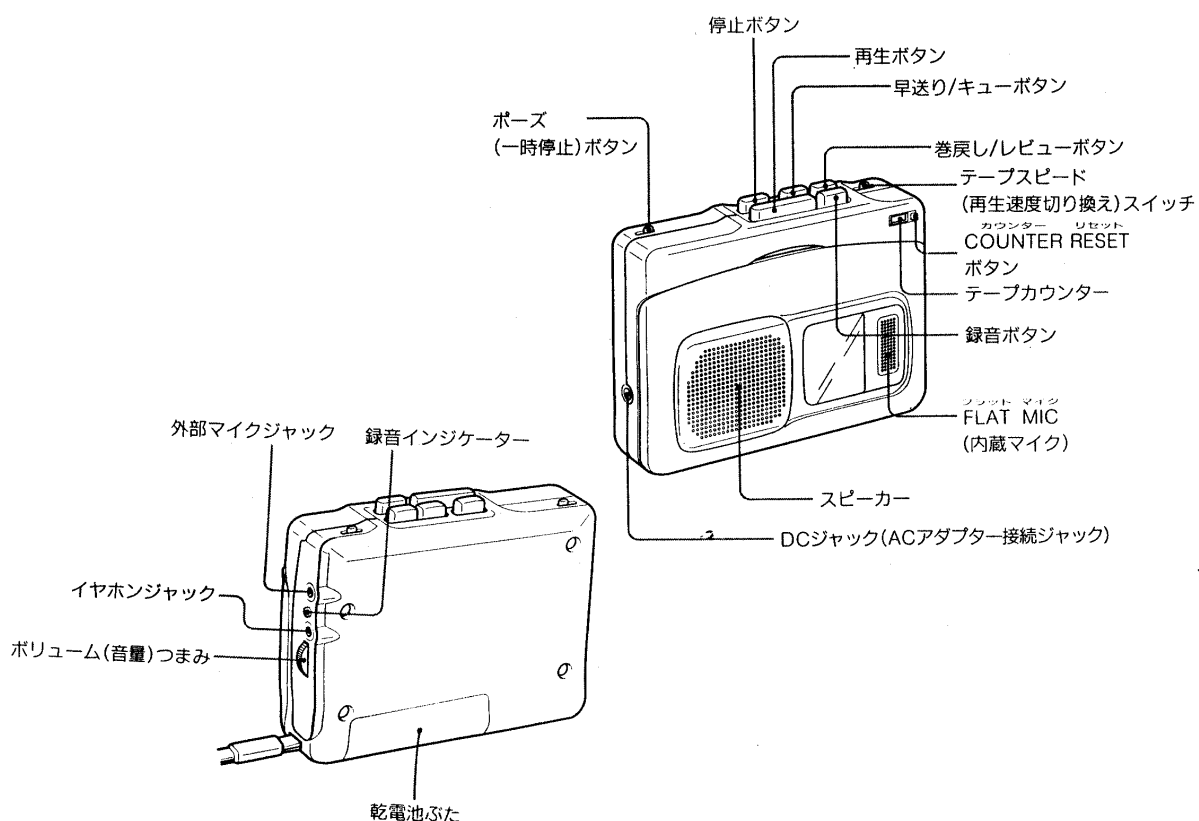
自分の立っている位置を通過したら読む。

- ・テープ録音者と野帳記入者の交代は、2回目のテープ交換（電池交換）の時に行う。
- ・たばこは、吸わないこと。
- ・通行人や付近の住民に迷惑を掛けない。

分からないこと・困ったことなどがあったら、監督に申し出ること。

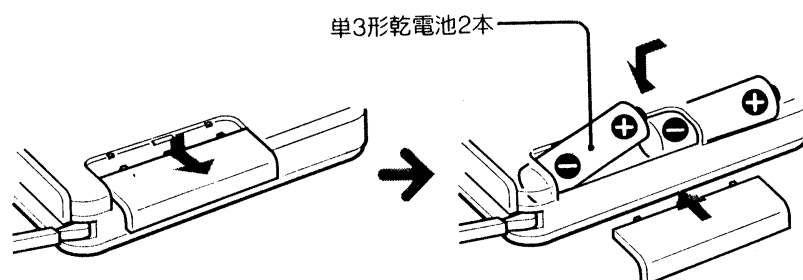
8、レコーダー操作方法

8.1 各部の名称について



8.2 電源について

乾電池で使うには



乾電池が消耗すると

テープの走行が不安定になったり、雑音が多くなったりします。また、録音中は、録音インジケーターが暗くなります。早めに2本とも新しい乾電池と取り替えてください。

乾電池について

乾電池は、使いかたを誤ると液もれや破裂の危険があります。次のことをお守りください。

- 乾電池の⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。

8.3 録音開始前・開始後のレコーダー状態の確認

- ・テープスピード [標準]
- ・ポーズ [切]
- ・マイク [マイク表示のある場所] (スピーカーとマイクは別)
- ・録音ランプの点灯 (暗くなったら、監督に申し出ること)
- ・テープ窓からテープの回転の確認

8.4 録音開始時の操作

- ・乾電池ケースを開けて、単三乾電池2本を入れる。(+ - を間違えないように)
- ・カセットテープを入れる。(A面が見えるように (A面をふた側にする))
- ・録音ボタンを押す。(再生ボタンも自動的に下がります)

9、調査の実施手順

(以下作業内容 : テープ録音者 : 野帳記入者)

AM 5:45 ───────── 現地集合 (集合場所は図 1・図 2 参照)

6:00 ───────── 監督と調査員の合流

6:10 ───────── 集合場所から調査地点へ移動
監督の指示に従い、調査地点まで徒歩で移動をする。

6:30 ───────── 現場での説明
調査説明の後、備品を配付し、次の作業を行う。

テープ録音者は、録音テープのラベルに「地点名、調査年月日、録音時間」が自分の担当場所とあっているか確認する。わからないことがあれば近くの調査監督に聞く。

確認したら自分の名前を記入例のようにフルネームで記入する。

< 記入例 > ラベル :

NO 、吉祥寺駅前交差点南側北行左線、 H8.10.30、AM7:00~7:45、テープNo.
山口智弘

- ・腕章は調査が終わるまで必ずつけておく。
- ・各自持参した時計の時計合わせを行う。

テープ録音者・野帳記入者を調査地点に配置

テープ録音者は、調査監督が調査の位置と方向を指示 (どの方向から来た車を調査するか) するので確認をすること。調査地点につき次第、調査開始時刻まで、プレートナンバーを読みとる練習を行う。 車両が基準点を通過したとき、プレートナンバーの数字

4桁を声出して読みとる。そのとき自分の声が録音されるか確認し、練習が終わったら必ず巻き戻しておく。

野帳記入者はまず、すべての野帳の右上の欄に通し番号をつけ、名前を1枚目の紙、左上の欄に記入する。

6:59 テープ録音者は、カセットレコーダーの録音スイッチを入れて、録音を開始する。

録音開始後は、調査監督の指示のない限り、録音状態をテープ交換まで絶対に止めない。テープの巻き戻しもしない。

テープ録音者は、テープを30秒ほど回してから、次のことを声を出して録音する。

三鷹、吉祥寺 プレートナンバー調査、
地点NO、吉祥寺駅前交差点南側北行左線
テープ録音者××××(フルネームで)
まもなく7時ちょうどになります。
5, 4, 3, 2, 1, はい!

7:00 プレートナンバー 読みとり・書取 開始

テープ録音者は、車両が読みとり地点(一定)を通過したとき、次のようにプレートナンバーの数字4桁を声を出して読み、カセットレコーダーに録音する。

「はい! 1 2 3 4 バス、はい! ・ 5 6 8 ペケ、はい! だめ(*)」

(*)読み切れなかったら「だめ!」という。2 輪車は読まない。

テープ録音者は、0秒ジャストの時に「時 分 0秒です。」と録

音するのがベストだが、車群が続いてナンバーの読みが忙しくて現在時刻を入れられなかったときなどは、多少のズレは構わないので信号が赤の時（車が停止している状態）、車の流れがとぎれたときなどに現在時刻を以下のように10秒単位で読み込む。

まもなく7時1分30秒になります。
3、2、1、はい！

野帳記入者は、テープ録音者がナンバーを読むのを聞いて野帳に記入する。現在時刻の記入はデジタル時計を見ながら1分単位で現在時刻を記入していく。（同じ時刻の場合は、記入しなくてよい）

記入例：

時	分	ナンバー	判別
0	7	1 9 9 9 5 5	✓

テープ録音者・野帳記入者は、何か問題が起きたら近くの調査監督に手を挙げて連絡すること。

7:30 頃 ——— テープ録音者は、監督が巡回しながら2本目のテープを渡すので受け取り、ラベルを確認する。その時に注意をよく聞くこと。

7:45 頃 ——— テープ録音者は車の流れが途切れ次第、テープレコーダーのNo. のテープに現在時刻を読んでから録音を終了させ、No. のテープに交換して下記のことを必ず録音して再開する。ただし車が来た時は、ナンバー読みを優先して行い、その後に下記を録音する。テープ交換中も車が来たら、野帳記入者のために声に出してナンバーを読む。

三鷹、吉祥寺 プレートナンバー調査、
地点NO 、吉祥寺駅前交差点南側北行左線
テープ録音者××××(フルネームで)
まもなく7時45分10秒になります。
5, 4, 3, 2, 1, はい!

テープ録音者は1本目のテープに名前が書いてあるか確認し、監督がテープを回収しに来るので手渡す。録音したテープは絶対に巻き戻さない。

8:15 頃 ~ テープ録音者は、監督が巡回しながら3本目のテープと単三電池2本を渡すので受け取り、ラベルを確認する。その時に注意をよく聞くこと。

8:30 頃 テープ録音者は車の流れが途切れ次第、テープレコーダーのNo. テープに現在時刻を読んでから録音を終了させ、No. のテープに交換して下記のことを必ず録音して再開する。ただし車が来た時は、ナンバー読みを優先して行い、その後下記を録音する。テープ交換中も車が来たら、野帳記入者のために声に出してナンバーを読む。またこのときに電池も交換する。そして、録音者と記入者を交代する。この時新しい野帳記入者は、新しい野帳に換え、その左上に名前を記入する。

三鷹、吉祥寺 プレートナンバー調査、
地点NO 、吉祥寺駅前交差点南側北行左線
テープ録音者××××(フルネームで)
まもなく8時30分40秒になります。
5, 4, 3, 2, 1, はい!

テープ録音者は、2本目のテープに名前が書いてあるか確認し、監督がテープを回収しに来るので手渡す。録音したテープは絶対に巻き戻さない。また、使用した電池も回収する。

9:00 頃 ~ テープ録音者は、監督が巡回しながら4本目のテープを渡すので受け取り、ラベルを確認する。その時に注意をよく聞くこと。

9:15 頃 テープ録音者は車の流れが途切れ次第、テープレコーダーのNo. テープに現在時刻を読んでから録音を終了させ、No. のテープに交換して下記のことを必ず録音して再開する。ただし車が来た時は、ナンバー読みを優先して行い、その後に下記を録音する。テープ交換中も車が来たら、野帳記入者のために声に出してナンバーを読む。

三鷹、吉祥寺 プレートナンバー調査、
地点NO 、吉祥寺駅前交差点南側北行左線
テープ録音者××××(フルネームで)
まもなく9時15分30秒になります。
5, 4, 3, 2, 1、はい!

テープ録音者は3本目のテープに名前が書いてあるか確認し、監督がテープを回収しに来るので渡す。録音したテープは絶対に巻き戻さない。

10:00 頃 テープ録音者は作業終了後、次のように終了時刻を読み上げる。

まもなく10時2分0秒になります。
5, 4, 3, 2, 1 はい!

テープ録音者は、「はい!」と言った後、次のことを録音してカセットレコーダーの停止ボタンを押し、テープを止める。

作業終了。

< < 調査終了 > >

調査終了後、ゴミ類（缶ジュースなど）を片づけた後（現状復帰）、その地点で待機する。調査監督の指導に従い、その場所で機材類、録音テープのチェックを受けた後、朝の集合場所に帰り指示に従う。

11:00 頃

解散

10、困ったときは？

テープ録音者

- ・ナンバーを読めずに録音できなかったら？・・・「はい！だめ！」と録音する
- ・途中でテープレコーダーが止まってしまった（壊れた）ときは？・・・

・・・手を挙げて監督を呼ぶ

注：ただしその間も、野帳記入者のためにナンバーを読み続ける。

- ・テープ交換をしているときに車が来たら？・・・・・・・・・・・・・・・・
- ・・・・・・交換作業の手を止めてでも、野帳記入者のために声を出して読む
- ・車群が続き、忙しいので「はい！」などが言えないときは？・・・

・・・・・・ナンバーを最優先に読む

・・・・・・2番目に判別を優先する

野帳記入者

- ・野帳に書き間違えたら？・・・
- ・・・・・・ナンバー記入欄に「斜線」を引いてその次の行に書く
- ・録音者が「はい！だめ！」と言ったら？・・・・・・・・・・判別欄に「D」と書く
- ・録音者が読み上げたが、野帳に書くのが間に合わなかったら？・・・・・・・・
- ・・・・・・空欄にして次の欄に次の車を書く
- ・使える筆記具がなくなったら？・・・・・・・・・・手を挙げて監督を呼ぶ
- ・野帳がなくなったら？・・・・・・・・手を挙げて監督を呼び、新しい野帳をもらう

注：新しい野帳には地点名や地点ナンバーを記入していないので、
通しナンバーの他に地点ナンバーも記入すること。

共通事項

- ・どうしてもトイレに行きたくなったら？・・・・・・・・手を挙げて監督を呼ぶ
- ・具合が悪くなったら？・・・・・・・・手を挙げて監督を呼ぶ
- ・テープ録音者が具合悪くなったら？・・・・・・・・
- ・・・・・・・・監督に伝えてから、交代が来るまで野帳記入者がテープ録音をする
- ・野帳記入者が具合悪くなったら？・・・・・・・・テープ録音を継続する。
- ・通行人に文句を付けられたときは？・・・・・・・・手を挙げて監督を呼ぶ

その他、分からないこと・困ったことなどがあったら、
監督まで申し出ること。

トラブルが起きているときに車が通過したら、
以下のことを優先して下さい。

また、そのことをメモなど記録に残すこと。

テープ録音が不可能になりテープ録音者が空いている場合は、その人がナンバーを声に出して読み、野帳記入を継続する。

どちらか一方（テープ録音者・野帳記入者）が作業継続不可能になったら、テープ録音の方を継続する。

テープ交換中は、野帳の記入を優先して行う。

テープ録音者と野帳記入者の交代中は、野帳の記入を優先して行う。